

# 融雪・排水促進

良質小麦生産に向けて

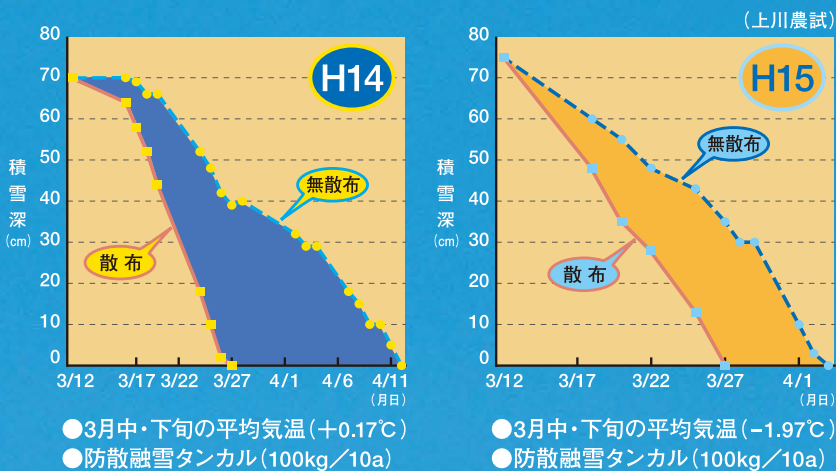
## 融雪剤散布の目安

- 日平均気温が、 $-3^{\circ}\text{C}$ 以上になる頃。
- 20cm以上の降雪の確率が少なくなった時期。

※融雪資材は、均一に散布せず、すじ状に散布し凹凸を作ると融雪効果が高い。  
※散布後に20cm以上の積雪がある場合、再散布が必要である。  
※積雪が多く散布時期を早める場合は、2回散布できるように資材を準備する。

## 融雪資材散布の効果

- 融雪資材散布により、融雪は10日前後早まります。



- 秋播小麦  
・雪腐病の被害を軽減できます。  
・起生が早まり、その後の生育が促進されます。
- 春播小麦  
・圃場の乾燥が進み、早期播種が可能となります。  
・出穂が早まり、赤かび病の発生軽減につながります。

## 融雪水の排出促進

- 融雪水は、溝切りなどにより早期排出に努める。
- 春播小麦予定圃場では、雪上心土破碎などを行い圃場の乾燥を促進する。



融雪水の排水



雪上心土破碎

